

所在地:	兵庫県加東市佐保50番地		
敷地面積:	38570m ²	延床面積:	15100m ²
設立:	2000年4月	従業員数:	180名
ISO14001取得:	2002年3月	ISO14001最新更新:	2008年3月
主要製品:			
環境コミュニケーション:	08年度		
情報開示:	38件	工場見学:	13108名
問合せ先	兵庫県加東市佐保50番地	地域貢献活動:	4件
		TEL:	0795-42-8570



ごあいさつ

- ・ 当サイトは、酒米として有名な「山田錦」を生産している田園に囲まれた工業地帯の一角にあり、四季折々に豊かな自然を満喫できる環境に恵まれた地域に位置しています。
- ・ 当社は、パナソニック㈱の家電リサイクル実証実験拠点として、家電リサイクル法で定められた製造業者の責任を果たすことは勿論のこと、リサイクル技術・工法・設備の開発・実証及び高リサイクル性製品の開発の促進のための研究開発部門を併設しています。
- ・ また、地域との共存を目的に、地域代表者・行政代表者・有識者を委員とする「環境保全協議会」を設けて、定期的に活動を実施。更には、小中学生を初め広く市民の方々の環境教育の場として施設を公開しており、1年間に国内外から1万人以上の見学者をお迎えしています。



環境責任者：瀬戸山 正博

2008年度の環境重点テーマの取組み

『ISO14001規格：2004年改定版』への適合活動を基本として、以下の重点・実践事項に取り組みました。

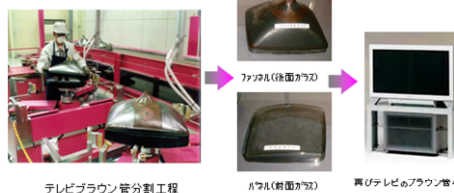
《 使用済み家電製品の再商品化(リサイクル)事業をベースにして 》

1. 分別精度の向上で廃棄物の有価物化を徹底する。
2. 設備の日常点検と改善で、処理効率を上げる。
3. リサイクル技術の開発・実用化と高リサイクル性製品設計の促進。
4. 不要な電気・照明を消す。空調温度を守る。
5. 小中学生の見学受入を積極推進する。

製品・環境配慮ポイントの紹介

商品から商品へ戻す：「テレビの事例」

- ・ ブラウン管ガラスをガラスカレット化し、再びブラウン管へ



商品から商品へ戻す：「洗濯機の事例」

- ・ 混合プラスチックから「うず潮水流選別」技術により高純度でP・P(ポリプロピレン)の回収



《使用済み家電製品のリサイクル》

当社は『商品から商品へ』をコンセプトに、家電リサイクル法で定められたテレビ・洗濯機・エアコン・冷蔵庫の4品目を再商品化(リサイクル)処理し、それぞれの使用済み製品から再利用できる素材を出来るだけ多く取出す努力をしています。

そして、その素材は新しい製品の材料として活用されています。また、再利用できる資源を供給することにより、CO2発生量の削減にも寄与しています。

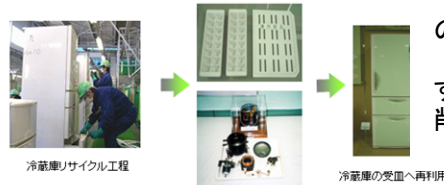
商品から商品へ戻す：「エアコンの事例」

- ・ コンプレッサー鉄を精製材として、再びコンプレッサー部品へ
- ・ 熱交換器の銅とアルミを高純度回収し、再び熱交換器へ



商品から商品へ戻す：「冷蔵庫の事例」

- ・ プラスチック(庫内部品)は、冷蔵庫の受皿に再利用
- ・ コンプレッサーは、分割処理後、磁物材として再びコンプレッサー部品へ

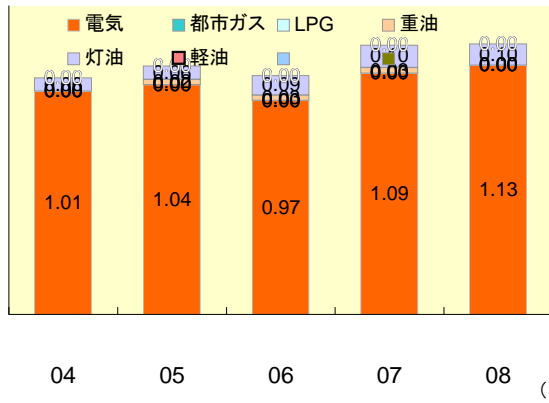


環境パフォーマンスデータ

グラフ表示年 08:2008年4月1日～2009年3月31日

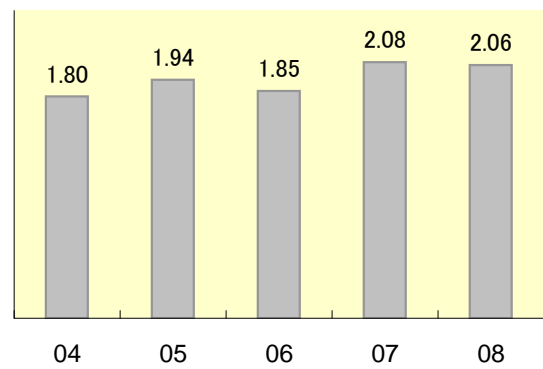
エネルギー使用量

単位:千kl



CO2排出量

単位:千t



自然エネルギー使用量

08年度

(年度)

0.00	千kWh
------	------

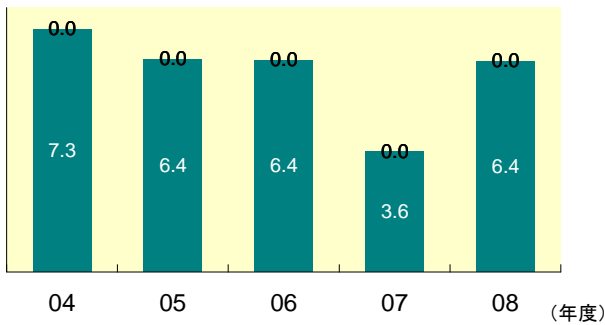
算出基準について

電機事業連合会「電気事業における環境行動計画」(2008年9月)に記載されている年度ごとの「使用端CO2排出原単位」を使用して計算。但し、2006年度以降は0.410kgCO2/kWhを固定して使用。

水の使用量

単位:千m³

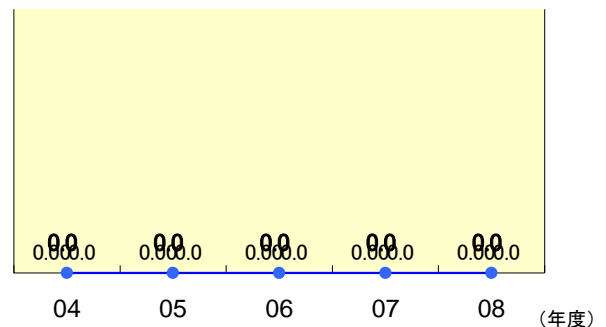
■ 上水道 ■ 工業用水 ■ 河川・湖水 ■ 地下水



産業廃棄物・有価発生物

単位:千t、%

■ 最終処分量 ■ 発生量 ● リサイクル率



循環的使用量

08年度

0.00	m ³
------	----------------

雨水使用量

08年度

0.00	m ³
------	----------------

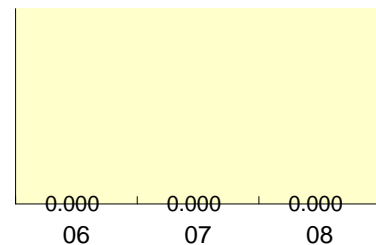
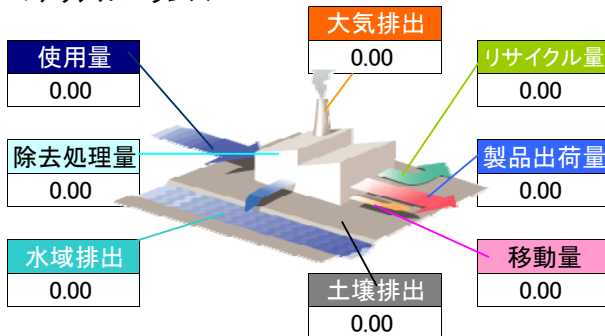
化学物質

08

マテリアルバランス

08年度

重点削減物質 排出・移動量



環境パフォーマンスデータの特記事項

パナソニックグループの工場化学物質管理について

http://panasonic.co.jp/eco/factory/chemical_substance/

環境法令等の順法状況 08年度

<大気汚染物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
SOx	Nm ³ /h			N/A	0.00		
					0.00		
					0.00		
NOx	ppm			N/A	0.00		
					0.00		
					0.00		
ばいじん	g/Nm ³			N/A	0.00		
					0.00		
					0.00		

<水質汚濁物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
COD	mg/l			N/A	0.00		
					0.00		
					0.00		
BOD	mg/l			N/A	0.00		
					0.00		
					0.00		
窒素	mg/l			N/A	0.00		
					0.00		
					0.00		
リン	mg/l			N/A	0.00		
					0.00		
					0.00		

<騒音・振動>

	単位	計測場所	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
騒音	dB	昼 敷地境界	70.00	70.00	55.00	64.00	年3回
		夜 敷地境界	70.00	70.00	50.00	54.00	年1回
振動	dB	昼 敷地境界	65.00	65.00	32.00	37.00	年3回
		夜 敷地境界	60.00	60.00	30.00	34.00	年1回

法令規制値：法または条例および協定の規制する値

N/A：法令規制対象外の項目

法令規制値超過について

規制値超過無し。

指導、指摘事項に対する改善状況

指導、指摘事項	改善対策
指導・指摘事項無し。	

環境方針

（環境理念）

パナソニック エコテクノロジーセンター(株)及び社環境生産技術センターは、使用済み家電製品の再商品化(リサイクル)、及びリサイクル技術の研究開発・実証等を通じて、循環型経済社会構築の一翼を担っていく。更に、地球・地域の環境の維持・向上に貢献するために、以下の方針に基づき環境管理を行う。

（環境方針）

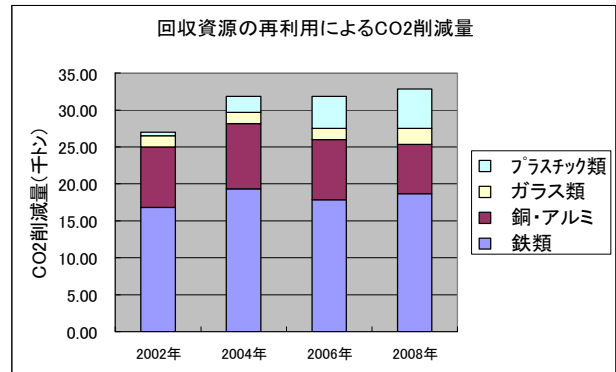
1. 当社は、事業運営に環境マネジメントシステムを確立し、運用する。
2. 当社は、事業活動における環境側面を認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメントシステムの継続的改善を図る。
3. 当社は、環境側面に関係して適用される法令、条例及び当社が受け入れた利害関係者の要求事項を順守する。
4. 当社は、以下の事項を重点テーマとして取り組む。
 - ① 使用済み製品の資源回収とゼロエMISSIONの推進
 - ② 生産(リサイクル処理)効率の向上
 - ③ 消費エネルギー及びリサイクルの徹底により「CO2」の発生を抑制する
 - ④ 環境負荷を更に低減させる研究開発と商品設計への情報発信
 - ⑤ 施設の公開を通じて小中学生等の環境教育に貢献
5. この環境方針の達成のため、環境目的及び環境目標を設定し、当社の全従業員で推進する。
6. 本方針は、当社で働く又は当社のために働く全ての人に周知するとともに、一般の人々が入手可能とする。

環境負荷削減の取り組み事例

使用済み家電製品からの再生利用可能な『資源回収』によるCO₂発生量の削減

当社では、使用済みの家電製品から再利用可能な素材(資源)をできる限り多く回収しています。また、回収した資源は新しい製品の材料として利用されることにより、CO₂発生量の削減に寄与しています。

	2002年	2004年	2006年	2008年
				単位:トン
鉄類	10,837	12,425	11,511	12,000
銅・アルミ	1,708	2,459	2,549	2,565
ガラス類	3,522	3,650	3,449	5,346
プラスチック類	513	1,896	3,909	4,804
合計	16,580	20,430	21,418	24,715



環境コミュニケーション事例



＜ 見学者の受入 ＞

小中学生をはじめ、諸外国も含め広く市民の方々の環境教育の場として施設を公開し、1年間に1万人以上の見学者をお迎えしています。2001年の創業から2009年度までの8年間で見学者は82779名。



＜ 環境保全協議会の活動 ＞

当社は創業当初から、地域の代表者・行政代表者及び有識者を委員とする「環境保全協議会」を設けています。

定期的な活動(会議・視察など)を通じて意見・情報交換や環境測定結果及び会社の主な取り組み事項等について協議しています。(2008年度の活動実績:3回)

＜ 美化活動の推進 ＞

加東市の環境美化運動の一環としての工場周辺道路の清掃活動や、自主的活動の清掃作業を始め須磨海岸のクリーン活動にも積極的に参加しています。



緊急事態への準備と対応

当社は環境マネージメントシステムを構築し、環境影響評価の結果を基に、登録した環境側面から緊急事態の可能性を想定し、四つの作業を対象に緊急事態への対応訓練を実施しています。また、訓練後には手順書の有効性の確認や対応備品に問題が無いかの確認も行っています。

